

# 2019 年度 いじめ防止対策改善プログラム 全体計画

東神吉小学校

- 基本理念
  - ①学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにする。
  - ②いじめの影響や問題について、児童が理解を深められるようにする。
  - ③家庭、地域、関係機関との連携のもと、いじめの問題を克服することを目指す。
- 基本目標
 

学校目標「心豊かにたくましく、自ら学び続ける児童の育成」の具現化に向けて、一人一人が活躍できる学級づくりを基盤に、いじめを許さない集団づくりを目指す。
- 行動目標
  - ① 職員会議等において共通理解を図るとともに、「チーム学校」として組織的な推進体制を充実させる。また、研修を通して教職員等の資質向上に努める。
  - ② いじめ問題等の未然防止に向けた取組を推進する。
  - ③ いじめ問題等の早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。
- 基本構想

職員研修・家庭地域啓発等 職員会議等・推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。</li> <li>② PDCA サイクルにより、7月・12月・3月に学期毎のいじめ対策の検証を行う。</li> <li>③ いじめ対策委員会を毎月1回開催する。</li> <li>④ 生徒指導に関する校内研修会を年3回実施する。</li> <li>⑤ PTA 研修会及び保護者を含めた人権教育を実施する。(人権参観・講演会)</li> <li>⑥ インターネットトラブル防止講座を年1回実施する。</li> <li>⑦ ユニット小中校長会を実施して、学校間の連携を推進する。</li> </ul>
未然防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「いじめ防止啓発月間」(9月)にいじめ防止集会を実施する。</li> <li>② 「居場所づくり」「絆づくり」を重視した学級活動、学年・学校行事を実施する。</li> <li>③ 「自己肯定感」「自己有用感」を育む学級活動、学年・学校行事を実施する。</li> <li>④ 主体的・対話的かつ協同的で「わかる授業」を実践する。</li> <li>⑤ スクールカウンセラーによる「ストレス対応」の授業を行う。</li> <li>⑥ 地域の方々との交流、自然とのふれあいを行う。(生活科・総合的な学習の時間) ・昔遊び ・里芋作り ・神吉山登山 ・もち米作り ・少年自然の家での芋焼きや自然学校 ・グラウンドゴルフ交流会 等</li> <li>⑦ 「つながり」を意識した児童会・委員会活動を充実させる。 ・縦割り活動を年3回実施する。 ・自主ルール作り及び見直しを行う。(携帯・スマホの使い方等) ・「ありがとうメッセージ」「お誕生日紹介」等を行う。</li> <li>⑧ 近隣の小学校との交流を進め、学校間での情報共有を図る。</li> <li>⑨ 学校支援ボランティア(登下校の見守り活動等)を活用する。</li> <li>⑩ PTA 活動や学校 HP、学校だより、学年だより等による情報発信を行う。</li> </ul>
早期発見・早期対応に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「学校生活に関するアンケート」(アセス)を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。</li> <li>② 「心の相談アンケート」を年2回実施し、子どもの実態を把握する。</li> <li>③ 教育相談週間を年2回実施する。</li> <li>④ 日々の観察や連絡帳・作文ノート等の活用により、担任と児童・保護者との連絡を密にとる。</li> <li>⑤ 些細なトラブルであっても心身に苦痛を感じていればいじめと積極的に認知し、直ちに組織的な対応を図る。</li> <li>⑥ 「ケース会議」を積極的に実施する。</li> <li>⑦ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用する。</li> </ul>